

【別紙・セミナーの詳細について】

なぜ今、欧州で日本工芸への関心が高まっているのか

— 世界の建築・アート・コレクタブル市場から見た日本工芸の可能性 —

欧州では近年、「手仕事」「素材性」「精神性」への関心が高まり、日本工芸への評価軸も大きく変化しています。

本セミナーでは、Collect Art Fair や Japan House London、欧州の建築家・コレクター・デザイン関係者との実際の交流を通して見えてきた現地市場のリアルをお伝えします。

このセミナーでお伝えすること

■ 欧州の人々は工芸の何を見ているのか？

技術の高さだけでは評価されない時代において、海外市場では何が価値として見られているのか。

■ なぜ海外の建築家やコレクターは日本工芸に注目しているのか

欧州の建築・インテリア・アート市場で、日本工芸への関心が高まっている背景を具体的な事例とともにご紹介します。

■ 海外で「評価され、選ばれる」ために、私たちが今すぐ変えられる視点

作品や技術そのものだけでなく、伝え方や見せ方によって評価は大きく変わります。

■ 欧州では日本工芸はどこで求められているのか

欧州では、工芸は単なる伝統産品ではなく、建築・空間・ライフスタイルの一部として捉えられることがあります。

ホテル、高級住宅、レストラン、ヨット、コレクタブルデザイン市場など、実際にどのような可能性があるのかをご紹介します。

■ 欧州の人々と仕事をするために必要な視点とは

建築家やコレクター、キュレーターなどとの関係づくりを通して見えてきた、欧州で信頼関係を築くための考え方やコミュニケーションについてお話しします。

■ 綺麗ごとだけではない、現地での「リアルな実例」

成功事例だけではなく、苦労したことや失敗から学んだことも含めて、現場のリアルを率直に共有します。

(次ページへ)

このような方におすすめです

- ✓ 海外展開に関心がある工芸作家・工房・企業
 - ✓ 欧州の建築・インテリア市場に興味がある方
 - ✓ 自身の作品や技術の新たな可能性を探りたい方
 - ✓ 海外とのつながりを作りたい方
 - ✓ 将来的に海外での活動を視野に入れている方
-

セミナー終了後について

セミナー終了後、欧州展開に関心のある方を対象に、希望者向け個別相談会（後日実施予定）のご案内をいたします。

作家・工房・企業それぞれの状況を伺いながら、欧州市場との接点づくりや今後の可能性について、一緒に考える機会として実施する予定です。